

執筆者紹介（掲載順）

執筆者 ①大学院における所属と職位、②専門分野、
③大学院における主な担当科目、④教育・研究業績、地域貢献などの紹介

芳賀 浩一 ①人文科学研究科 教授
②比較文学、批評理論、現代日本文学
③比較文化研究（比較文学）、比較文化研究指導、英文資料講読、比較文化概論、現代日本の文化、Variable Topics in Culture and Society in Japan 等。
④最近の主な業績として「気候変動をめぐる「遅い暴力」と現代文学の射程」『現代思想』2020年3月号、青土社、136-143頁。The Earth Writes-The Great Earthquake and the Novel in Post 3/11 Japan (Lexington Books, 2019)、『ポスト311小説論—遅い暴力に抗する人新世の思想』水声社、2018年、など。

板井 美佐 ①人文科学研究科 准教授
②言語学（第二言語習得／対照言語学）、日本語教育、（中日）翻訳教育
③国際日本学研究指導、日本語学特論、日本語教育研究
④（共著）2015、『新編完全攻略問題集読解』語文研究社。（共著）2010、『日本語誤用辞典』スリーエーネットワーク。（単著）2000、「中国人学習者の日本語学習に対するBELIEFSについて—香港4大学のアンケート調査から—」日本語教育学会日本語教育。（単著）1999、「海外日本語教育における『テープ通信』の可能性」日本語教育学会日本語教育。

宮 偉 ①人文科学研究科 教授
②言語文化、日中翻訳
③比較文化研究指導、日本文化特別講義d（言語と文化）、比較文化特別講義a（日中比較）、日中翻訳a（時事・実務）、グローバルコミュニケーション演習Ⅰ・Ⅱ
④日中翻訳文化教育協会常務理事。「案内サイン翻訳のストラテジー」（2017）、「真名・仮名に見る日本文化」（2017）、「日中観光翻訳の問題点と解決策」（2018）、「解説系サインにおける文化語彙の日中翻訳」（2020）、「日中観光翻訳におけるアダプテーション—『忠実』への検討を兼ねて」（2021）、「日中翻訳の特異性—観光資料の日中翻訳に基づいて—」（2022）、「日中翻訳における意味」（2022）その他論文、辞書「新日漢大辞典」（2017）、教科書「新経典日本語シリーズ」（2012-2020）などがある。

- 清水 正美
- ①福祉総合学研究科、福祉総合学部福祉総合学科 教授
 - ②社会福祉学、福祉制度・政策論、低所得者対策
 - ③福祉社会演習（大学院）、福祉政策、貧困に対する支援論など（学部）
 - ④著書：『高齢者の生活困難と養護老人ホーム 尊厳と人権を守るために』（編著者）法律文化社、2019.9など。学会発表：日本社会福祉学会第65回大会にて「養護老人ホームのあり方論議と地域に関する課題—過去5年間にわたる各種調査研究事業における検討事項の抽出をもとに—（単独）」2017.10など。地域社会貢献：社会福祉士・精神保健福祉士国家試験委員、厚生労働省老人保健健康増進等事業の養護老人ホームに関する調査研究事業検討委員会委員など。
- 瀧 章次
- ①国際人文学部国際交流学科 教授
 - ②西洋古典学
 - ③根拠への問い—哲学への扉 倫理学概論 文学のはじまり—古代ギリシア・ローマの文学（以上全学部共通基盤科目） 環境政策論 キリスト教政治倫理（非常勤講師：青山学院大学）
 - ④‘Hypotheses on the Textual Transmission of Plato’s *Menexenus*’（『城西国際大学大学院紀要』（2022））、‘*Imitatio Socratis*: A Histrionic Reconstruction of Plato’s Socrates’（『城西国際大学紀要』（2020）（Erasmus+教員派遣交換プログラム（2019年4月）、ハンガリー、デブレツェン大学、古典学部、講義（4月17日（水）原稿改稿）。